

マダニに注意!!
～特に春から秋にかけて～

県内において、重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome:SFTS) の患者が確認されました。多くの場合、屋外で SFTS ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染しています。
インフルエンザのように容易に人から人へ感染して広がるものではないとされています。

症状 マダニにかまれてから6日から2週間程度の潜伏期間を経て、主に原因不明の発熱、食欲低下、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などが出現します。

感染予防方法 マダニにかまれないようにすることが重要です！(特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意が必要です) 農作業やレジャーなど、屋外で活動する際には、次の点に注意してください。

- ①長袖、長ズボンなどを着用して皮膚の露出を避け、すそを入れ込んでダニの付着を防ぐ。
- ②肌が出る部分には防虫スプレーを噴霧する。
- ③屋外活動後は、体や服をはたき、マダニにかまれていないかを確認する。帰宅後は、すぐに入浴して身体をよく洗い、付着したマダニを落とし、衣服は洗濯する。
- ④吸血中のマダニを見つけた場合は、できるだけ医療機関で処置する。
※無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。
- ⑤マダニに咬まれた後に、発熱などの症状があった場合は、医療機関を受診する
(出典：厚生労働省「重症熱性血小板減少症候群に関する Q&A」)
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

マダニとは

マダニ類は、硬い外皮に覆われた比較的大型(吸血前で3～4mm)のダニで、主に森林や草地などの屋外に生息しており、市街地周辺でも見られます。日本全国に分布しています。
例) フタトゲチマダニ 体長約3mm



便検査でピロリ菌がわかります
6月・7月・10月の集団健診で検査できます

胃がんの発症につながるとされる細菌「ヘリコバクター・ピロリ」(ピロリ菌)が、便検査で簡単にわかります。この便検査を、6月の集団健診から取り入れます。ピロリ菌検査の方法はいくつかありますが、最も詳しく調べることができるのは便検査です。

また、ピロリ菌を取り除く内服治療が保険適用となりました。これにより、胃炎の早期段階での治療が可能となり、胃がんの予防につながります。

対象◆40歳以上の人(来年3月31日までに40歳に到達する人を含む)で、町の集団健診において、胃がん検診(バリウム検査)を同時に受ける人

料金◆胃がん検診+ピロリ菌検査…2,200円(がん検診免除証明書を持参した人は1,200円)

受診方法◆①健診のしおり(5月号で配布)内にある申込書を使って、「胃がん検診+ピロリ菌検査」を申し込んでください。健診票といっしょに専用の容器が届きます。

②容器に便をとり、集団健診当日に提出してください。結果を受け取ったら…「陽性」と出た場合は除菌治療ができる医療機関を受診してください。また、「陰性」と出た場合も、胃がん検診は毎年受けてください。

小児慢性特定疾患患者の
交通費の一部を助成します

海田町では、今月から小児慢性特定疾患治療研究事業の対象患者が、県外の医療機関で治療や検査などを受ける場合、その交通費の一部を助成します。

対象◆次の要件を満たす小児慢性特定疾患患者とその保護者
①県外の医療機関(最寄りの鉄道の駅がJR広島駅から103km(JR福山駅相当距離)より近い場所にある医療機関を除く)で、小児慢性特定疾患治療研究の対象となっている病気の治療などを行うことについて、県が承認していること(県発行の小児慢性特定疾患医療受診券に対象疾患・受診する医療機関が記載してあります)

②小児慢性特定疾患患者が、治療などのために、県外の医療機関を往復すること

助成回数◆1年度あたり3回まで

※助成金額、申請方法などについては、保健センターまでお問い合わせください。

おたふくかぜ予防接種を開始します
対象者には4月上旬に通知します

毎年春に流行するおたふくかぜは、耳下腺が炎症を起こす感染症です。中には、繰り返す中耳炎や難聴を残す子どももいることが知られています。

このたび、海田町ではおたふくかぜ予防接種を開始します。就学前までに2回受けるのがよいとされていますので、すでに1回受けられた子どもも、もう一回接種できます。

Q この予防接種の対象者は?

A 満1歳以上6歳を迎えた年度の3月31日まで(年長)のお子さんです。対象者には予診票および接種できる医療機関についてお知らせします。

Q 接種回数は?

A 無料で接種できる回数は1回です。

Q もうすでに1回接種しています

A 1回目の接種からできるだけ期間をおいて、就学前の3月31日までに接種しましょう。

催し名	月日	時間	注意事項など
すくすく赤ちゃん(育児教室)	4月17日(水)	13:00~13:20 整理券配布 12:30~	乳児の発達観察、身長・体重測定、育児・ブックスタートの話など 対象 =平成24年11月生まれ ※出席できない人は連絡してください。 対象 =平成24年12月生まれ ※出席できない人は連絡してください。
	5月17日(金)		
1歳6カ月児健康診査(1歳6カ月~2歳未満)	4月19日(金)	13:00~13:30 整理券配布 12:30~	対象 =平成23年9月生まれ 対象 =平成23年10月生まれ
	5月30日(木)		
3歳児健康診査(3歳~4歳未満)	5月21日(火)	13:15~13:45 整理券配布 12:30~	対象 =平成22年1月1日~2月15日生まれ 対象 =平成22年2月16日~3月31日生まれ
	6月12日(水)		
ひまわり栄養相談(個別栄養相談)	月~金曜日(祝日除く)	9:00~16:00	高血圧、糖尿病、高脂血症などの食事療法や正しい食生活について 申し込み =事前に電話で保健センターへ
健康相談室	毎週月曜日	9:00~11:00	保健師・栄養士による身体計測、尿検査、血圧測定、育児相談、離乳食相談、健康相談など 対象 =赤ちゃんから高齢者まで 持参物 =母子健康手帳または健康手帳
どんぐり相談(子育て相談)	4月10日(水)	14:00~17:00	子どもの成長・発達についてどんなことでも相談してください。 心理士 =県立障害者療育支援センター わかば療育園園長 河野政樹氏 申し込み =4月3日(水)までに電話で保健センターへ
家族会	4月15日(月)	13:30~15:30	精神障がい者の家族などが集まり、日々の悩みや喜びなどについて語り合う会です。 対象 =精神障がい者の家族など 申し込み =12日(金)までに電話で保健センターへ
パパママスクール	4月21日(日)	10:00~12:00	沐浴体験会 これから誕生する赤ちゃんのために、パパとママ一緒に準備してみませんか。 対象 =妊婦(妊娠16週~)とその家族 ※一人での参加も可。 定員 =15組 持参物 =母子健康手帳 申し込み =事前に電話で保健センターへ
	5月31日(金)		お産の経過 マタニティヨガ
	6月26日(水)		妊娠中に知っておきたいこと

場所=保健センター

駐車場=旧千葉家住宅駐車場を利用してください。(セブンイレブン海田中店の隣にあります)

楽しくシェイプアップ<脂肪燃焼・腰痛対策>

アクアエクササイズ

日時◆5月15日、22日、29日、6月5日、12日、19日、26日(全7回・いずれも水曜日) 14時~15時30分(受付13時30分~)

場所◆福祉センター

対象◆町内在住の概ね70歳までの人で、高血圧や心臓病などがなく、運動制限のない人

参加費◆1,500円 ※初回時に集めます。

定員◆25人

持参物◆水着、帽子、タオル、飲み物など

申し込み◆5月10日(金)までに保健センターへ

予防接種の内容を一部変更します

変更内容	変更前	変更後
子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン	任意接種	定期接種
ヒブワクチンの追加接種の時期	初回接種終了後 概ね1年あけて	初回接種終了後 7カ月から13カ月の間
BCGの接種対象者	6カ月未満まで	満1歳の誕生日の前日まで
日本脳炎の特例接種対象者(20歳まで接種できます)	平成7年6月1日生まれ~平成19年4月1日生まれ	平成7年4月2日生まれ~平成19年4月1日生まれ